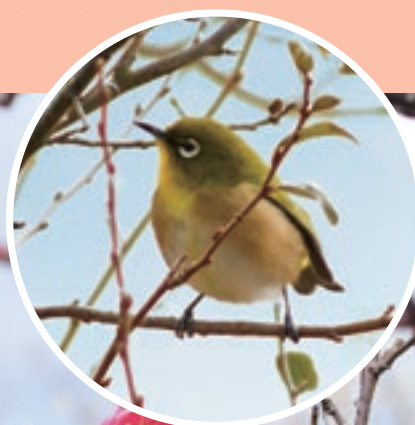




山口宇部 医療センター だより



「梅ジロー」が撮れませんでした...

理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

基本方針

1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
5. 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。



独立行政法人 国立病院機構

山口宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241

山口県宇部市東岐波685番地

TEL.0836-58-2300(代)

FAX.0836-58-5219



<http://www.yamaguchi-hosp.jp/>



2022年 年頭のあいさつ

山口宇部医療センター（山口がん・呼吸センター）

院長 亀井 治人



明けましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、皆様にとりまして本年が良き年となりますことを心より祈念申し上げます。

山口宇部医療センター職員一同は、心新たにしながらも、これまでと変わりなく、地域の皆様の期待にお応えできる診療を目指してまいりたいと考えておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、2020年初に始まった「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」の流行は、2021年末までの2年という時間を経ても終息するには至りませんでした。その一方で、昨年、社会的には感染対策に向けての意識の向上とワクチン接種の広まり、医療面ではCOVID-19に対する治療法の開発、進歩などが功を奏し、徐々に、かつ極めて限定的ではありますが、様々な領域においてCOVID-19流行前への復帰が試みられました。

しかし、今再び、昨年末に出現した新たな変異株（オミクロン株）が猛威を振るい、感染機会の縮小を目指して社会活動の制限が求められる状況となっています。

山口宇部医療センターは、COVID-19流行の初期の段階から本日に至るまで、山口県の新型コロナウイルス感染症対策に対して県の重点医療機関として、また国立病院機構グループの一員として、行政や他の医療機関とともにこの災禍に立ち向かい、地域の方々へ安定した医療の提供を保证する、そして、それによってもたらされる**皆様の安心と信頼を以てウイズコロナ時代における社会活動の再開をも支援する**という責務を果たさんと最大限の努力を続けてまいりましたが、この重責は、真に世の中がアフターコロナの時を迎えるまで担い続けてゆかねばならないと決意を新たにしているところです。

また、当院は、肺がんを主とする「**がんに対する専門的診療**」、喘息や慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、

結核を含めた呼吸器感染症など様々な「**呼吸器疾患に対する専門的診療**」、そして「**重症心身障害児（者）に対する専門的な療育と診療**」という3部門に特化している『**専門医療機関**』です。

担当している分野は限られていますが、いずれの分野におきましても堂々たる実績を有しており、当地域にあって最後の砦、もしくは唯一無二の医療機関としての責務を担う覚悟をもって診療を行っており、これらの機能についてはCOVID-19流行下にあっても平時と同等の機能をしっかりと維持していく所存です。

当院をご利用頂く皆様には、これまでに引き続きましてマスクの着用や手指衛生の徹底、入館、面会の制限など、病院の感染制御において不可欠となる数多くの対策へのご協力をお願い申し上げますこととなりますが、病院と皆様が一丸となってはじめて安寧な医療の継続が実現されます。

ご不自由をおかけいたしておりますが、COVID-19を克服して我々が平時の生活を取り戻すことができる日まで、今後ともご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。

2022年（令和4年）1月吉日



山口宇部医療センター小児科についてお話しさせていただきます。一般の小児科とは違い障害児や障害者を診療対象としています。

以前、障害者施設で元職員の施設入所者殺傷事件があったことを覚えておられるでしょうか。あつてはならない事件に自分たちも愕然としました。自身の胸の内でも問答していました。決して忘れてはならない事件です。

病棟(入院)は療養病棟となっていて障害児・障害者の方々が生きておられます。重度の知的障害と、座位ができるのがやっと程度の運動機能障害があつてほとんど寝たきりになっておられます。30年以上いらっしゃる方もおられます。人工呼吸器がついている方、気管切開を受けている方、口からお食事ができない方、自分で排尿できず管を入れている方がおられます。最高齢72歳、最少齢1歳と幅広い世代の方々が生活しておられます。

この方々はいろんなめぐりあわせでここで一緒に生きてゆくことになったのですが皆さん個性があつて、中には仲良くできない人たちもおられますし、とても仲良しの方々もおられます。他者のことを考えられない人もおられます。意思疎通困難な人もおられます。そばにいと生きるってどういう事だろうと思います。

そうはいつでも自分のことを自分でできない方々ばかりなのでスタッフは仕事が多くて大変です。もっとゆっくり一人ひとりと向き合いたいと思つても時間や人手が足りなくてできなくなってしまうこともあります。

生活場所といつても一般人が病気やけがをしたときに必要な手当では病院ですからしなくてははいけません。ですからここで働くスタッフは生活援助しながら病気の手当てや処置、ひいてはその人の病気の早期発見体調管理までできるわけです。

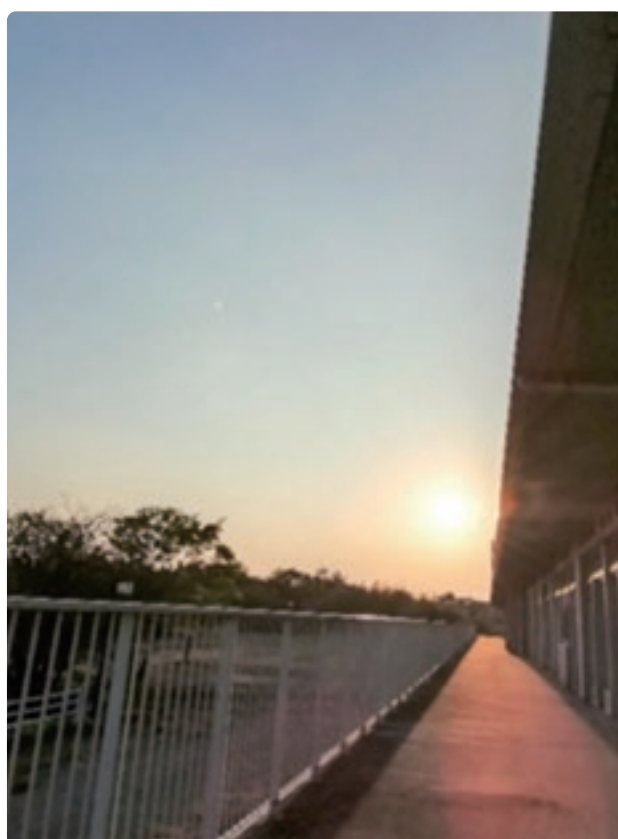
でもこれはあくまでも理想です。現代は医療が細分化専門化されているわけでその恩恵にあずかるためにはいろんな別の病院に移らなければならないことも多いのです。一人で多くの病気を抱えることもあり、病院通いをすることもあります。専門医が往診してくださることもあります。

結局、世間一般の方々とよく似た部分もあればそうでない部分もありますが、生きるという事においては

特別違ってはいないと私は思うのですが、皆様はどう思われますか？

私が今一番困っているのは、この病棟の方たちが好きで元気で活動的な若い常勤医師が見つからないという事です。どなたか助けに来てください。お待ちしております。

最後に入院中の障害者の方の作品をご本人の許可を得てお見せします。味わってみてください。



きらら病棟患者撮影

療育指導室

療育指導室長 中谷 あさみ

療育指導室は「福祉学(社会)」・「教育学」・「心理学」・「保育学」を基盤とした療育・保育支援により利用者の皆さんの健全育成、QOLの向上と福祉の増進に努めていく部署です。

当院の療育指導室には児童指導員・保育士・音楽

指導員が配置されており、長期の入院治療、療養を必要とされる重症心身障害児(者)の皆さんへの日常生活の指導、療育活動、福祉に関する相談・支援を行っています。

療育

一人一人の限らない自己実現を目指して環境を整え、適切な援助を提供し、自身の努力を促していく総合的行為を療育といいます。個人個人が持っている能力(個性)を最大限引き出し、生活の質を向上めざして、年間計画のもと集団や個別の指導・支援を行っています。

	月	火	水	木	金
午前	とことこクラブ	院内探索	朝の会	朝の会	朝の会
	幼児対応	幼児対応		幼児対応	幼児対応
午後	たのしまんにやーず	ミュージック&ゲームパーティー	行事 病棟活動	七色クラブ	ひよこクラブ
	和みクラブ	きらら坂48		のびのびクラブ	
	ときめき音楽隊	グッドタイム		四季折々	のんびりクラブ
	個別療育	オリサボタイム!		個別療育	フライデータイム
	何でも体験DAN	きらら探検隊クラブ		チャレンジきららズ	あおぞらクラブ

行事

一年を通して様々な行事を企画・実施しています。お誕生祝い・入学・卒業祝い・成人式・還暦お祝いなど、利用者一人ひとりの人生の節目を、ご家族・職員共々お祝いすると共に、四季折々の行事を通して、季節の移り変わりを感じて頂けるように工夫しています。

月	内容	月	内容
4月	ひよこクラブ入園式	11月	七五三
7月	夏の行事	12月	冬の行事、クリスマス会
8月	かき氷会	1月	成人式
9月	還暦お祝い会	2月	節分会
10月	秋の行事	3月	春の行事、ひよこクラブ卒園式



外出行事

外出行事は、それぞれの病状や興味等にあわせ、社会的経験を豊かにし、生活の質向上を目指し、年間計画のもと実施しています。

例年はときわ公園やきらら浜、ショッピングなどに出かけていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染対策として病院内で実施しました。

通所「マラウ」

通所『マラウ』(フィジー語で「嬉しい」「喜び」の意)では、在宅の重症心身障害児(者)の皆様を対象とし、健康管理や食事支援、入浴支援、機能訓練、療育活動、発達相談など総合的なサービスを提供しています。ご本人はもとより、ご家族がより心豊かでゆとりある生活が送れるように支援します。



通所「マラウ」



浴室



プレイルーム



冬行事「Winter Fes In KIRARA」について

療育指導室 保育士 西尾 優花

12月8日、きらら病棟で冬の行事「Winter Fes In KIRARA」を開催しました。

会場には大きなお城や、利用者さん一人ひとりに制作してもらった色々なキャラクターの旗を飾り、みなさんを楽しめる夢の国の世界へご招待しました。

オープニングでは光と映像と共に始まったパレード。瞬く間に会場が夢のファンタジーへと変身しました。

オープニングが終わると元気いっぱいキャラクターが登場! 会場も大盛り上がり。「ゆきだるまつく〜ろ〜」のお誘いに、溶けない魔法の雪の花を使ってみんなで大きな雪だるまを作りました。最後に目と鼻と口を付けると…素敵な雪だるまが完成!!

次は愉快的楽器隊の仲間たちも遊びに来てくれました。ここではみなで、長〜いマラカスや長〜い鈴を鳴らし「♪ミッキーマウスマーチ」を演奏しました。

マラウさんともオンライン中継をしての大合奏♪と

ても素敵な音色で、利用者さんの中には、楽器を持って鳴らしたり、音楽に合わせて体を揺らしたりされる方もおられ、とても楽しそうな様子でした。

最後はフィナーレ。愉快的仲間達と一緒にきらら病棟歌をみんなで歌いました。

コロナ禍でなかなか外出できない中、行事を通して少しでも楽しい夢の国の世界を感じ、利用者さんにとって特別な時間になってもらえていたら嬉しいです。これからも、みなさんが楽しめるワクワクするような四季の行事が実施出来るようスタッフ一丸となって計画していきたいと思っています。



来院型オンライン面会について

入院係長 福田 絵美子

当院では、新型コロナウイルス感染防止の一環として、面会を制限させて頂いておりますが、ビデオ通話アプリを使用して、患者さんとご家族が画面を通して面会する「**来院型オンライン面会**」(完全予約制)を2022年1月より開始しました。

なかなか面会ができない中、画面越しではありますが、少しでも患者さんとご家族の不安が和らぐ時間ができたら幸いです。ご希望の方は、下記をご確認いただき、お申し込みください。

来院型オンライン面会って?

ご家族に来院していただき、当院が貸し出すタブレット端末を使用して、病棟個別ブース(患者さん用)と面会用ブース(ご家族用)をビデオ通話アプリでつないで面会することができます。

令和4年1月開始

来院型オンライン面会のご案内

- 面会時間
・平日15時〜16時
・1組につき10分、1日3組まで。
- 面会場所
・患者さんは病棟の個別ブースより、ご家族は面会用ブース(外来1階支払い窓口横)で行います。
- 予約方法
・お電話にて「**来院型オンライン面会の予約希望**」とお伝えください。入院患者さんご本人様からの申し出も可能です。その際は病棟看護師にご相談ください。
※面会希望日の2日前(土・日、祝日等を除く)までに予約をお願いします。
※限られた予約枠のためご希望に添えない場合があります。
- 注意事項
・ご利用はご家族のみ(1回の面会は2名まで)
・来院の際は、検温等体調チェックをさせていただきます。
・病状によって面会をお断りすることがあります。

＜お問い合わせ先＞
医療事務室 診療受付
0836-58-2300 国立病院機構 さいわい医療センター
この病棟はオンライン面会について、設備が整った専用の面会ブースを準備しております。

- 面会時間／ 平日15時〜16時(1組につき10分、1日3組まで)
- 面会場所／ 患者さんは病棟の個別ブースより、ご家族は面会用ブース(外来1階支払い窓口横)で行います。
- 予約方法／
 - ・お電話にて「**来院型オンライン面会の予約希望**」とお伝えください。
 - ・入院患者さんご本人様からの申し出も可能です。その際は病棟看護師にご相談ください。

※面会希望日の2日前(土・日、祝日等を除く)までに予約をお願いします。
※限られた予約枠のためご希望に添えない場合があります。
- 注意事項／
 - ・ご利用はご家族のみ(1回の面会は2名まで)
 - ・来院の際は、検温等体調チェックをさせていただきます。
 - ・病状によって面会をお断りすることがあります。



面会用ブース
(外来1階支払い窓口横)



〈お問い合わせ先〉 医療事務室 オンライン面会受付 ☎0836-58-2300



当院呼吸器外科は肺・縦隔の良性・悪性腫瘍、転移性肺腫瘍、胸膜中皮腫の手術、感染性肺疾患の手術療法、自然気胸、膿胸などの良性疾患の手術療法を行っています。

外科系診療部長 井野川 英利

手掌多汗症に対する胸腔鏡下交感神経焼灼術も対象を選んで行っています。低侵襲手術を積極的に取り入れており、肺癌に対する手術の約9割を傷が3ヵ所の胸腔鏡下手術で行っています。最近は傷が1ヵ所のみの単孔式手術を採用する症例も増えています。

肺癌の手術に関しては、進行癌で腫瘍が大きく胸壁へ浸潤している場合や、明らかなリンパ節転移を伴う症例など、術前に抗がん剤治療や放射線治療を行ってから後に行う手術では開胸手術を選択する場合があります。適応があれば気管支形成や血管形成を伴う手術や他臓器合併切除を伴う拡大手術も行っています。

当院で治療実績の多い、胸膜中皮腫に対する手術も診断目的の生検から根治を目指した胸膜外肺全摘まで幅広く行っています。術後の治療は放射線科、腫瘍内科と連携し放射線治療や抗がん剤による術後補助化学療法を行っています。

呼吸器外科領域では鏡視下手術の技術認定制度の整備が他領域より遅れていましたが、学会主導のもと2021年より胸腔鏡安全技術認定制度が発足しました。書類選考と動画の審査を経て、初年度の認定医が選出されましたが当院にも資格取得者が在籍しております。

手術を安全、確実に遂行するために各自、研鑽を積み重ねています。

当院の呼吸器外科の

特色について

より低侵襲な「単孔式」胸腔鏡下手術を導入しています

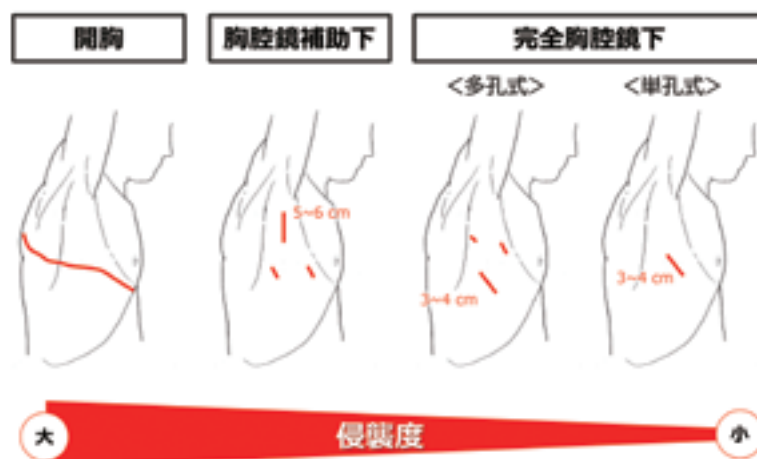
呼吸器外科 岡田 真典

当院は山口県から「特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)」の指定を受け、肺がん診療の質の向上に努めています。また気胸や膿胸、縦隔腫瘍などの様々な呼吸器・胸部疾患に対する専門的診療を担っています。

これら疾患の外科治療は呼吸器外科が担当しています。当院は呼吸器外科基

幹施設として認定されており、呼吸器外科専門医3名と麻酔科医や看護スタッフとのチーム医療によって、高度で安全な手術が提供可能となっています。さらに術前・術後管理や機能回復に向けてのリハビリなど、呼吸器専門医療機関として万全の態勢で臨んでおります。

胸腔への到達法（より低侵襲に）



肺がんや気胸などに対する手術を行うためには、肋骨や横隔膜に囲まれた「胸腔」という肺が存在しているスペースに到達しなければなりません。そのため、側胸部に手術創を設けて、肋骨と肋骨の狭い間から手術を行います。かつては大きな傷を伴う「開胸手術」が主流でしたが、近年は胸腔鏡というカメラを用いることで小さな傷で手術を行う「胸腔鏡下手術」が一般的になっています。

胸腔鏡下手術は、胸腔内を観察するためのカメラや、肺などの組織を切離・縫合したりする器具を数cmの小さな穴(孔)から胸腔内に入れ、これらを体外で操作して行う手術です。

傷が小さくて済むことから近年は多くの施設で行われており、当院でも十数年以上前から導入を開始し、十分な症例経験を蓄積して参りました。

この傷(孔)を数ヶ所設けて行う(多孔式)胸腔鏡下手術がこれまで一般的でありましたが、昨年から当院では3~4cmの創部1つのみで行う「単孔式胸腔鏡下手術」を導入しました。従来の方法と比べて傷が1ヶ所となりますので、痛みやダメージが当然少なくなり、術後の回復も早い印象です。

単孔式手術では、一つの狭い傷から多数の道具を挿入して手術をしますので、専用の手術器具や高度な技術が必要となります。そのため全国的にも導入されている施設はまだ少ないのですが、当院はこの高度低侵襲手術をいち早く導入した施設のの一つとなっています。

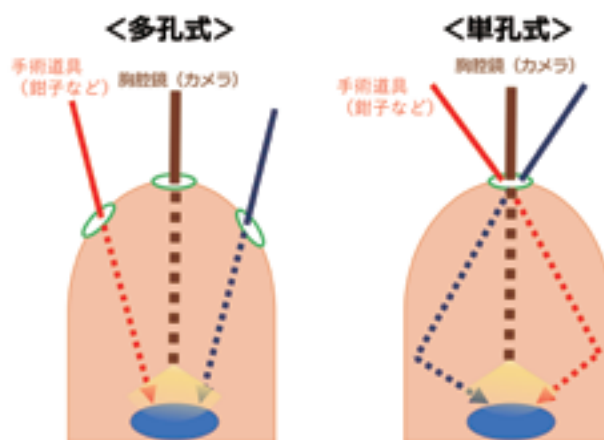
導入当初は肺部分切除術といった比較的複雑でない手術のみを対象にしていたましたが、現在は肺がんの標準術式である肺葉切除・リンパ節郭清術や、自然気胸や膿胸といった一般呼吸器外科手術にも適応を拡げています。ただし、すべての患者さんに提供できるわけではなく、患者さんの病状(肺がんの進行度など)、併存疾患の有無や病歴によっては導入が難しい場合もあります。あくまでも手術を安全に、また確実に完遂できることを目指した上で、この単孔式手術を選択しています。

当院呼吸器外科では、病気をしっかり治すことは当然として、さらにカラダに優しく、生活の質を維持することも目指した手術治療を提供して参ります。単孔式胸腔鏡下手術についてのご希望、ご不明な点がございましたら、当院呼吸器外科まで是非お気軽にご相談ください。

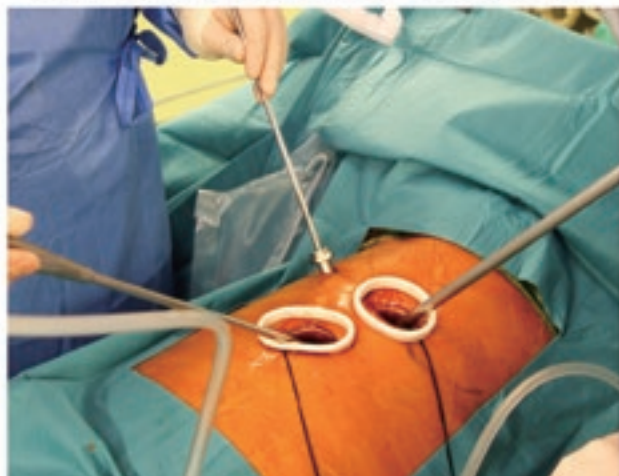
従来の胸腔鏡下手術 (傷が3つ) 単孔式胸腔鏡下手術 (傷が1つ)



胸腔内操作のイメージ



従来の胸腔鏡下手術 (多孔式)



単孔式胸腔鏡下手術



外来診療担当医表

令和4年2月1日 現在

診療科	概 要	月	火	水	木	金
内 科 新 患 外 来		青江 啓介	前田 忠士 原田 美沙	山本 佑 末竹 諒	恐田 尚幸 松田 和樹	角川 智之 久本 優佳里
内 科 紹 介 外 来			亀井 治人	亀井 治人		亀井 治人
内 科			石田 浩一			石田 浩一
呼 吸 器 内 科		坂本 健次 伊藤 光佑 村川 慶多	恐田 尚幸 松田 和樹	恐田 尚幸 末竹 諒 松田 和樹 藤井 哲哉 村田 順之	大石 景士 伊藤 光佑	村川 慶多 原田 美沙
腫 瘍 内 科	抗がん剤治療 肺がん 等	前田 忠士 近森 研一	青江 啓介 宇都宮 利彰	近森 研一	前田 忠士 宇都宮 利彰	青江 啓介
画 像 診 断 科	画像診断 等		松本 常男			松本 常男
呼吸器外科新患外来		井野川 英利		沖田 理貴	岡田 真典	
呼吸器外科・外科	肺がん	沖田 理貴 岡田 真典		井野川 英利 岡田 真典	井野川 英利 沖田 理貴	
乳 腺・消化器外科	胃がん・ 大腸がん等	平澤 克敏		平澤 克敏 (午前中のみ)		平澤 克敏 (手術で不在の場合あり)
緩 和 ケ ア 内 科	※完全予約制	竹内 愛	小笠原 啓子		竹内 愛	
放 射 線 科	画像診断・ 放射線治療 等	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎
小 児 科	障害児外来 ※紹介予約患者のみ 診察			奥田 裕美		沖野 文子
精 神・神 経 内 科	てんかん 等	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘

※下記診療科は入院患者のみ診療

消 化 器 内 科	内視鏡 等		山本 直樹			
整 形 外 科	リウマチ・骨粗鬆症 等					今城 靖明
歯 科				竹縄 隆徳	中島 大輔	
耳 鼻 い ん こ う 科				潘 友季		
神 経 内 科				押部 奈美子		

① 外来受付時間：午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間：午前8時45分～】

※内科新患外来：午前9時30分～11時00分 / 内科紹介外来：午前9時00分～11時00分

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CT及び核医学(シンチグラム)の外来紹介は、地域医療連携室(内線2452)までご連絡ください。

患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで

地域医療連携室

受付時間／毎週月～金曜日まで 8時30分～17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938

